



祭壇に白菊を献花し、恒久平和を祈った中学生

遠野市戦没者追悼・平和祈念式

8月9日

平和への祈りを込め献花

戦没者追悼・平和祈念式があえりあ遠野で開かれ、約200人が参列。本市出身者で戦死した1,133人の先人に哀悼の意を捧げました。今年度、市内の中学生6人が初めて参列。祭壇に花を手向け、恒久平和を祈りました。菊池源悦さん(市遺族連合会会長)は、「戦争の悲惨さを風化させず次世代につなぐことが使命。これからも声なき声に報いる所存です」と追悼。参列者は祈りを捧げ、戦没者をしのびました。



初めてのえさやり、「いっぱい食べてね!」

武蔵野市家族ふれあい自然体験in遠野

8月17日~20日

家族で遠野の自然を満喫

友好都市・武蔵野市から13家族42人が本市を訪問しました。同事業は4年ぶりの開催で13回目。参加者は、▷バケツジンギスカン▷魚のつかみ取り▷乗馬——などを楽しみました。家族は農家民泊し、野菜収穫などを体験。自然豊かな遠野の夏を満喫しました。家族3人で参加した相原快斗くん(9歳)は、「魚のつかみ取りや餅つきなど、色々なことが体験できて楽しかった」と笑顔を見せました。



多彩なビールと食に酔いしれた来場者

遠野ホップ収穫祭2023

8月18・19日

待っていた祭典に歓喜の一杯

ホップ収穫の最盛期を祝う同収穫祭が蔵の道ひろばで開かれ、約9,000人が来場。遠野産ホップを使ったビールと地元食材を使ったフードを堪能しました。ホップのほ場見学やステージイベントなども実施。4年ぶりに開催されたイベントに会場は盛り上がりを見せました。友人と来場した悦淵益さん(松崎町)は、「ビールもフードも全てがおいしく楽しい。来年も絶対来ます」と満足した様子でした。



大府市小学生訪問団歓迎式

初めての遠野を楽しんだ大府市の児童

大府市小学生都市間交流事業

8月22日~25日

大府児童を遠野流におもてなし

友好都市・大府市の小学生20人が4日間の日程で本市を訪れ、文化や伝統を学習しました。遠野小を訪問した児童は、ゲームを通じて同校児童と楽しく交流。▷カッパ釣り体験▷語り部による昔話▷ひつつみの試食——など遠野のおもてなしを堪能しました。井上紗希さん(大府小6年)は、「遠野は自然がきれいなのでたくさん写真を撮った。帰ったら家族に見せるのが楽しみ」と声を弾ませました。

遠野暮らし&活動報告 Vol.50

キラリ! 地域おこし協力隊

遠野に移り住み活動する「地域おこし協力隊」の活動の様子や関連イベント情報などをお伝えします。



- 1_ 自宅近くの来内川のほとりにて
- 2_ 映画上映会の様子。皆さんと一緒にスクリーンを囲みました
- 3_ 自主企画で開催した蔵書印ワークショップ。参加者の真剣な眼差しが印象的でした

訪れたいと思います。また遠野を

Q 活動内容を教えてください
遠野ファンを増やすため、イベントの企画と情報発信を担当してきました。遠野ふるさと商社や遠野市教育文化振興財団と連携して、遠野の資源を生かしたワークショップや、ドイツで暮らした経験から遠野とドイツを結びイベントを企画しました。また自主企画として、映画館の無い遠野での映画上

Q 活動の気付きを教えてください
映会や、「ことも本の森 遠野」の蔵を利用して本にまつわるイベントを開催しました。
Q 活動を通じて実感したことは、人と人をつなぐ場を作ることの大切さです。開催したイベントでは市内外の人たちと多くの出会いが生まれました。参加者同士がワークショップなどで時間を共有し、

Q 今後の目標を教えてください
今年の9月末で地域おこし協力隊の任期が満了となりますが、その後は故郷の福岡市に行くことになりました。遠野に来てからの3年間、新たな文化や暮らしに触れました。おいしいご飯に感動したり、初めての雪かきや雪道の運転も経験したり、美しい遠野の風景に胸を打たれました。また、多くの人たちとの素晴らしい出会いにも恵まれました。今後は、地域おこし協力隊の活動を通して学んだことを生かし、新しい場所でも頑張りたいと思います。そして遠野ファンの一人として、また遠野を訪れたいと思います。

3年間の活動を振り返って
只松 靖浩 隊員 福岡県福岡市出身・46歳
(2020年10月着任)

移住し、挑戦中!
只松さんのプロジェクト
「観光と物産の振興」

info. 「地域おこし協力隊」とは?

市は平成28(2016)年から、総務省の「地域おこし協力隊制度」を活用し、地域活性化に意欲を持つ人を市内外から採用しています。採用されたメンバーは約3年の任期中、地元企業や生産者、地域の皆さんと連携しな

から▷ホップ▷歴史▷文化——など、遠野の人々が育んできた豊かな地域資源を活用した地域おこしに挑戦。新しい視点と都市部の企業などで培ったスキル・経験を生かし、遠野のために活動しています。